



## てんごく とう とう 天国に 届くための 塔

ノアが死んでから何年もの間に、人々の数は増えていきました。  
 そのころ、人々はみんな、同じ言語を話していました。ある時、  
 みんなが谷に集まって、こんな計画を考え出しました。

「さあ、町と塔とを建てて、その頂を天に届かせよう！」人々は  
 高まになり、自分たちがどんなに偉大で力強くなったかを示すために、  
 塔を建てたがったのです。けれども、神様はその計画を快く思わず、  
 それをやめさせるために、人々の話す言語を混乱させました。

まもなくして、人々はおたがい同士話している言葉が分からなくなり、  
 塔を建てるのをやめました。人々がそこを去ったので、塔は未完成の  
 ままになりました。

バベルの塔についてのお話は、創世記の第11章1-9節に書かれているので、  
 よ読んでみましょう。